

MIDDLE1600_2

0601: 事実、グエイエは、^{ぼうぎょふか ひ ぎ ひろう}防御不可の秘技を披露しましたわ。

0602: ヘドヴィグさん、^{ぼく そうりよく あ}僕らは総力を挙げて、^{さが}チグウを探しますよ。

0603: ヴィグデイスは、シュアイジャオの^{きょうぎ ぜんせん やぶ}競技で善戦し、敗れました。

0604: ^{せいきゅうしょ しゃめい か わす ひみつ ばくろ}請求書に社名を書き忘れた秘密、暴露しちゃいましょうか。

0605: ^{びょうじょう ひょうじょう}病状を表情からチェックするために、^{てっしょう ひつよう}徹宵は必要ですか？

0606: ^{かざ}飾りだった^{ことり おもちゃ}小鳥の玩具が、ミシュキエヴィッチを^{みちび}導くとはね。

0607: ウィーヴァーの^{じゅうほんぼう い ぎま あっぱ}自由奔放な生き様は、天晴れですね。

0608: ^{たけうま かぞく あそ}竹馬は、かつて家族で遊ぶ、^{とき おもちゃ}ひと時の玩具でした。

0609: ^{りやくだつ みょうおう おたけ えんお うず ま}略奪した明王の雄叫びに、厭悪が渦を巻いています。

0610: うっかり^{ねす}寝過ごし、^{げしゃ そこ}ミャンマーのピエーで下車し損ねました。

0611: フォージャの^{じょうざい みょうやく げきつう げきてき やわ}錠剤は妙薬で、激痛が劇的に和らぎます。

0612: ^{しんけい す へ}神経が擦り減りへとへとなので、^{らいきやくまえ な}来客前にリヤマを撫でてきます。

0613: ヴァイスゲルバーを^{した ひと おお}慕う人は多いので、^{ふくざつ}ギュルシェンは複雑かもね。

0614: ビョグデヨルの^{さいこうほう わ}最高峰がどこなのか、分かりませぬ。

0615: ^{しんらつ ひひょう}クウイルの辛辣な批評は、^{こころ お}イヴの心を折りました。

0616: ブジャピダーサナのポーズを、^{くも した き}雲の下で決めると、ギャラリーができました。

0617: ^{ちほう}ヘジャリヤ地方には、^{つめ なが おとこ す}爪の長い男が住む、^{びょうほ}苗圃があります。

0618: ^{ぎょかい}フルステンベルクで、^{つく}魚介のサルピコンを作ってみましょう。

0619: ^{あ あさ}明るる朝には、^{びょうぶ まえ}屏風の前の^{た あ}ジョーが立ち上がるはずです。

0620: ディネフは、^{でし}ジャウォスキの弟子になるため、^{さんち おとず}ウォリゴ山地を訪れました。

0621: テーブルの^{みぎて}右手に見えますは、ナポリのピッツァでございます。

0622: ヴラトゥコに^{かせい}加勢したのは、^{たぜい}多勢に^{ぶぜい}無勢で^き気の^{どく}毒だったんでね。

0623: ^{ばつびよう}抜^{あきら}錨を^{てつ}諦め、^{いし}鉄の意志で^{りよう}旅行へ^い行きます。

0624: あれほど^{あらが}抗ったシャピュイサが、^{じゆだく}受諾した^{いと}意図を^{さと}悟ってください。

0625: ウィッデャーとの^{しょうぶ}勝負、そりゃあ^{ちわ}血湧き、^{にくおど}肉躍りますぜ。

0626: ^{わたし}私も、ツェツィーリアのような、^{すてき}素敵な^{はくしゃくふじん}伯爵夫人になりたいな。

0627: ^{ぶそう}武装ゲリラに^{おそ}襲われ、^{りつぜん}ガイギャックスは^{りつぜん}慄然としてます。

0628: ビョイスが^{しら}ちょくちょく^{ちかすいみやく}調べてた^か地下水脈は、^か枯れてたね。

0629: 閉じる^と門が^{もん}指に^{ゆび}挟まり、^{はさ}プシェミスワフは、「^{こえ}ぐあ」と^{こえ}声をあげました。

0630: ジャグラーで^{まった}全く^{びみよう}ペカらず、^{かお}微妙に^{あお}顔が青くなってますね。

0631: チャドウィックの^ひ秘め事^{ごと}が^も漏れたこと、^{もう}申すまでも^ご御座いませぬ。

0632: ^{としお}年老いた^{わし}儂には、^{おい}プレッツェルの^わ美味しさが分からぬのです。

0633: スヴェインビェルンが、^{じんべえ}甚兵衛を^き着て^きダイヴしたそうね。

0634: ^{さか}坂を^{のぼ}上っていたら、^{とつじよかえる}突如^と蛙が^だピョンと^と飛び出し、^だビビりました。

0635: ^{げこうじかん}下校時間の^{ぎふ}岐阜は^{あつ}暑く、^{あせ}ティッシュで^{ぬぐ}汗を拭きます。

0636: リェプルの^{みようあん}妙案により、^おプロジェクトを^お終わることができました。

0637: ^{とうにゆう}豆乳を^{はこ}運ぶために、^きジェット機を^か借りるなんて^{ばか}馬鹿げています。

0638: ^{おも}ギリギリまで^{わずら}思い煩い^いましたが、^いやっぱり^{いただ}言わせて^{いただ}頂きます。

0639: ヒューリスティックに^{うし}牛を^{そだ}育てるなんて、^{むちゃくちゃ}無茶苦茶ですよ。

0640: とどのつまり、シェリーファが^とパズルを^と解けたかは、^{さだ}定かじゃないのですよ。

0641: ^きポールが^き来て^きバーベキューするから、^{ちゃっかざい}ぼちぼち^も着火剤を持ってきてね。

0642: 何者かにセキュリティが破られ、焦慮にかられております。

0643: ピヤストゥヴナさん、次の話題に移ってくださいませ。

0644: ジャパニーズで文字を余さず使おうとすると、テョやテャが残ります。

0645: 結局ツァイは、二十八本の歯で、巨大なチェリーを噛めましたっけ？

0646: サングィネッティは、漢方薬を飲み続けるも、効果は出てきてません。

0647: ピアーヴェは、他のチーズと比べ、五臓六腑に染み渡る旨さですね。

0648: 海原に、細長い何かが、によろによろと蠢いています。

0649: 千代に突如ゴートウーヘルと言われ、兄弟はぎょっとしました。

0650: ミエーラは、カポシュヴァール発の電車で、車窓を楽しみます。

0651: ニューウェイヴは音楽ジャンルで、ウェイヴは物理的な波ではなさそうね。

0652: プロスクイーロヴェツィでの将棋は、序盤のポカで投了となりました。

0653: ギュスターヴと競演し、刺激的な時を過ごせましたか？

0654: チェルニャフスキは、意気地無しへと豹変しちゃいました。

0655: 軍靴のショーウィンドーを、厳重に警護してるようです。

0656: ちょっと兄ちゃん、ベルジュイス作の革バッグが、お買い得ですよ。

0657: 別居中のフェンディが、捕鯨に反対なのは本当ですか？

0658: サルディーニャの望みは、白檀を仏像の形に掘ることです。

0659: オートキュイジーヌを作りたいが、具材が足りないな。

0660: デューラフォアは、年頃の妹に嫌われぬよう、気を付けてます。

0661: クォータニオンは難所だが、プレゼンに不備は無かったですよ。

0662: ファウストの闘いは、ヴォクシーに大きな影響を与えました。

0663: ミッドウェー^{とう}島^{ごじゅっぶん}には、五^つ十分^つほどで着くとのこと^つです。

0664: 胸^{むな}騒^{さわ}ぎがすると^{さわ} 呟^{ゆくえ}き、ギエルゲイは行方^{くら}を眩^{くら}ませました。

0665: クエゼリン^{かんしょう}環^む礁^むに向かう、ジェット機^きの速度^{そくど}が速^{はや}まります。

0666: ザビツァーは、午後^{ごご}からウィズダムとお出^で掛^かけだそう^{いた}です。

0667: ヘミングウェイから授^{さず}かった紙^{かみ}は、ペラペラだが大事^{だいじ}なものです。

0668: ニエザヴィーシマヤの意味^{いみ}は独^ど立^{くりつ}であり、孤独^{こどく}とは異^{こと}なります。

0669: アエギプトウスを^{しゅっぱつ}出^{しゅ}発^{ぱつ}し、やっとリュクデに^{いた}至^{いた}ったわ。

0670: マニキュアのために、ギュミュシュハーネに突^{とつげき}撃^{げき}とは、物好^{ものず}きですね。

0671: ラゾビッチなら、屋^{おく}上^{じょう}でルービックキューブや^おって^くますよ。

0672: 白^{びやっこ}狐^{うらぎ}の裏切^{しさい}りについて、仔細^{しさい}はペーニヤが把^{はあく}握^{あく}して^はる^あず^くです。

0673: 長^{ちやうこう}江^{なが}を眺^{なが}め、愛^{あいびよう}猫^{ちや}の茶^{ちや}々^{ちや}丸^{まる}に、チャオチュールをや^やって^ます。

0674: ウォルポールは、雲^{くも}が空^{そら}を覆^{おお}うこと^{きづ}に気付^きき、すぐ帰^{きたく}宅^{たく}するで^しょう^う。

0675: 河^{かし}岸^なに何故^なかアルパカが^{ちやうしょ}いた^かと、調^{ちやうしょ}書^かに^{ひつ}加^{ひつ}筆^{ひつ}しと^いて^ね。

0676: ヴォーチェでお^{すす}勧^すめ^すの^{さい}コス^{さい}メ^{やすね}を、最^か安^か値^かで^か買^かい^かまし^かた。

0677: 准^{じゅん}教^{きやう}授^{じゆ}が^み見^みた^みのは^{ひだり}左^{ひだり}の^{きよぎ}リベ^のシ^のィ^ので、虚^{きよぎ}偽^のは^の述^のべ^のて^のい^のま^のせ^のん。

0678: ひやひやひやと笑^{わら}い^{わら}な^{わら}が^{わら}ら、ジューコビーと^{よも}四^{よも}方^ま山^ま話^{なし}に、花^{はな}を^さ咲^さか^させ^さまし^さた。

0679: 文^{ぶん}脈^{みやく}を^よ読^よむ^{かぎ}限^{かぎ}り、スィタルケスは、ヒューンフェルトに^{きやう}興^{きやう}味^{みな}無^{きやう}さ^{みな}げ^{みな}ね。

0680: オーシャンビューの^{はかく}ホ^はテ^{かく}ル、フイ^はピ^{かく}ャー^{かく}ノ・^はヴァ^{かく}ッ^{かく}レ・^はイ^{かく}マ^{かく}ー^はニ^{かく}ャ^{かく}でも^は破^は格^{かく}です。

0681: 呪^{じゅ}縛^{ばく}で^{かお}顔^{こわば}が^{りっぱ}強^り張^{っぱ}る^とグ^とォ^とニ^とュ^とル^とだ^とが、立^り派^{っぱ}に^とや^とり^と遂^とげ^とま^とす^とよ。

0682: 麦^{むぎ}の^{ちが}違^{べん}い^{べつ}を^{うれ}弁^う別^れで^うき^れると^うは、そ^うり^うゃ^うあ^う嬉^うしい^うです^うな^うあ。

0683: 居^き室^{しつ}で^ら拉^ち致^ちさ^ちれた^{きやく}客^{きやく}なら、「^{はつ}ち^{おん}ゃ^わ」を「^{はつ}て^{おん}ゃ^わ」と^わ発^わ音^わする^わので^わ分^わか^わり^わま^わす。

0684: ひやくせつふとう　こころざし　も　おさ　じきそ　むちゃ
百折不撓の志を持つシュヴォテだが、長に直訴は無茶ですね。

0685: みなみ　な　こえ　き
南からニャーと鳴く声が聞こえ、ぎょっとしました。

0686: た　と　の　はじ
ヘーゼルナッツは食べだすと止まらず、ジュースまで飲み始めちゃうの。

0687: かな　きよく　きよむ　こころ　ふつしよく　きよくちょう
テュペロの奏でる曲は、虚無の心を払拭する曲調でしたか？

0688: きよくしよてき　いた　れいきやく　ちよくせつひ
局所的な痛みは、冷却シートで直接冷やします。

0689: はつげん　ふ　さが
ザファールの発言を踏まえて、チェリーを探してくださいませ。

0690: さま　もう　しごと　じゅたく
パスクァーレ様より、ぼろ儲けできる仕事を受託しました。

0691: ひょうばん　またた　ま　ひろ
シュライエルマツヒエルの評判は、瞬く間に広まりました。

0692: なるほど　まち　ひとびと　しんこう
成程、この街の人々は、ヤズィーディーを信仰するわけですね。

0693: りよだん　きよげんへき　しんばい
旅団のリーダーはフィツツァですが、虚言癖があるので心配です。

0694: じょうり　みごと
浄瑠璃をまとめたガヴァッツィのレポートは、見事でしたわ。

0695: た　かい　しめ
ホリデエイが立てたイシューに、ベイリャルが解を示したようです。

0696: わたし　みどりいろ　きゅうよう
私のトゥードゥーリストでは、緑色は急用ではありません。

0697: せきぜん　ばしよ　とつじよ　さわ　だ　めざわ
寂然とした場所で、突如パリピがイエイエイエ騒ぎ出し、目障りですね。

0698: しんぼく　ふか
せっかくだから、フェルプスやペティグリューとも、親睦を深めましょ。

0699: あく　ごんげ　むしず　はし　かげき
ペッツォは、悪の権化に虫唾が走り、過激になりがちです。

0700: さかずき　こだわ　と　よ
杯には拘りがあって、ルミャンツェヴォから取り寄せました。

0701: うら　つぶ　な
ヘルウィグはカボチャを裏ごしし、粒が無いかをチェックした。

0702: ゆき　よる　う　し
ページをめくり、雪の夜にユンジュが生まれたことを知る。

0703: ぎょかくりょう　ぜろ　かいびやくいらいはじ
漁獲量が零だなんて、開闢以来初めてだよ。

0704: みっか　つく　ゆだん　ゆか　お
三日かけて作ったプリンを、油断して床に落とした。

0705: 逆^{ぎやつきょう} 境^{かいせん} にもめげず、海^{りだつ} 戦^{ほほ} から離脱^{けが}したが、頬^{ほほ} に怪我^{けが}をしてしまった。

0706: スビ^{ぐち}ョルは愚痴^{ぐち}もこぼさず、シェイプアップをゆっくりやる。

0707: ポツツォヴィーヴォがふざけた拍^{ひょうし}子^しに、キュウリが床^{ゆか}に落^おちた。

0708: フォルテュナトゥスがよじ登^{のぼ}った岩^{がん} 壁^{べき}だが、ホヴセピアンには無理^{むり}だ。

0709: ミューズィが愛媛^{えひめ}で、ペプシとペリエのお湯割^{ゆわ}りを、湯上^{ゆあが}りに飲^のむ。

0710: 悪^{あく} 手^{しゅ}だったが気持^{きも}ちを抑^{おさ}え、テシ^{しろ}ケは白^あ 星^{ほし}を挙げた。

0711: 高^{たか} 々^{ただか} クアッドコアで、連覇^{れんぱ}がかかったコンペに臨^{のぞ}むのは無茶^{むちゃ}だよ。

0712: ピーボディは、兵戈^{ひょうが}無用^{むよう}と慈心^{じしん}不殺^{ふせつ}を、胸^{むね}に刻^{きざ}む。

0713: ズヴェーリエフと夫婦^{ふうふ}になり、朝^{あさ} ペシペシと起^おこされる。

0714: フィービーは細身^{ほそみ}だがパワフルで、ジヴィゾール山^{さんみやく} 脈^{のぼ} も登^{のぼ}れるだろう。

0715: テャー様^{さま}には、パユって名^なの、立派^{りっぱ}な許嫁^{きよか}がいるんですよ。

0716: デイヴィッドやヨーゼフも連れて、迷^つい猫^{まよ}の里^{ねこ} 親^{さとお} 探^{やさ}しへ行く。

0717: ヒエティルよ、雪崩^{なだれ}が安^{あん} 全^{ぜん}などとほざくのは、やめときな。

0718: ポペティが夕暮^{ゆうぐ}れに、魚油^{ぎょゆ}の油膜^{ゆまく}を、弓^{ゆみ}でゆっくり破^{やぶ}る。

0719: しかしスィロヴィが、ここまで緻密^{ちみつ}で精^{せい} 妙^{みょう} な品^{しな}を出^だすとはなあ。

0720: 馬車^{ばしゃ}で移動^{いどう}するなら御^{ぎよ} 者^{しゃ}が必須^{ひつす}なので、パパッと集^{あつ}めるぞ。

0721: ノヴァフェルトリアの牧師^{ぼくし}は、多義^{たぎ}的で絶^{ぜつ} 妙^{みょう} な言葉^{ことば}を使^{つか}う。

0722: 料理部^{りょうりぶ}で蒟^{こん} 蒻^{にやく} を調^{ちょう} 理^りした夜^{よる}は、蚊帳^{かや}の中^{なか}へ入^{はい}り寝^ねる。

0723: ジョルジェから譲^{ゆず}り受^うけたジャンパーに、塗^{とり} 料^{りょう}が付^ふ 着^{ちゃく}しちゃった。

0724: シャポヴァーロフは、普^ふ 段^{だん} 穏^{おだ}やかだが、キレると暴^{ぼう} 虐^{ぎやく} の限^{かぎ}りを尽^つくす。

0725: ボジェナは略^{りやく} 語^ごで答^{こた}えたが、誤^ご 答^{とう}と扱^{あつか}われてしまった。

0726: 搾^{ぎーさい}菜^いを入れた酢豚^{すぶた}と、ペポーゾのコンビが存^{ぞん}外^{がい}に美味^{うま}い。

0727: このミラノピッツァは、イエリッツァが決^きめたフォーマットに準^{じゅん}拠^{きよ}してるぞ。

0728: ヴォルピは、ギェルギェルと腹^{はら}を下^{くだ}し、苦し^{くる}そうだった。

0729: ギュギュッと絞^{しぼ}ったジュースで備^{そな}えたのに、そんなご無^む体^{たい}な。

0730: ガヴァツツェーニのオペラは、水面^{みなも}に浮^うかぶ蓮^{はす}に似^にた、趣^{おもむき}がある。

0731: ヴィーズギェルミルは、この辺^{あた}りで唯^{ゆい}一^{いつ}の観^{かん}光^{こう}スポットなの？

0732: ブグゥは専^{せん}業^{ぎょう}ユーチューバーになっただが、チュロス縛^{しば}りのネタ^{むり}じゃ無^む理^りよ。

0733: ニェンロンで犯^{おか}した過^{あやま}ちは、よくよく考^{かん}えれば冤^{えん}罪^{ざい}だろう。

0734: そりゃあ、浅瀬^{あさせ}でパチャパチャ燥^{はしゃ}ぐジェブじゃ、少^{すこ}しニユースバリューが弱^{よわ}いだろ。

0735: ミュグレーを説^{せつ}得^{とく}したきゃ、そこらの雑魚^{ざこ}じゃなく、シュルツェを呼^よびな。

0736: 布^ぬが千切^{ちぎ}れたので、タークウルが再^{ふた}び縫^ぬうことになった。

0737: 河原^{かわら}から近^{ちか}いアミューズメントパークで、ポークカレーを頼^{たの}む。

0738: 美羽^{みう}氏が沈^{ちん}黙^{もく}を破^{やぶ}り、ジトーミェシュで起^おきた事^じ故^こを述^のべるそうだ。

0739: 奴^{やつ}はウォガウォガで小狡^{こずる}く立ち回^たり、宿^{まわ}敵^{しゆくてき}を狙^{そげき}撃^たし倒^{たお}したのだ。

0740: 筆^{ふで}で字^じを書くのは久^か々^{ひさびさ}ですな、アブドゥライエさん。

0741: 閉店^{へいてん}後に、デョークはゆったりピニャコラーダと、ピーチパインを楽^{たの}しむ。

0742: ジェポと家族^{かぞく}は、五十步^{ごじっぽ}百步^{ひゃつぽ}のポエムで、コンペに臨^{のぞ}む。

0743: 俺^{おれ}の女^{によう}房^{ぼう}とキャピュシーヌは、過去^{かこ}にスポーツでレギュラーを争^{あらそ}った。

0744: うむ、チャドルバギを食^くった不倫^{ふりん}相手^{あいて}は、うぬであるな。

0745: ウェイグォ様^{さま}は馴染^{なじ}みの客^{きやく}なので、粗^そ略^{りやく}に扱^{あつか}っちゃダメだぜ。

0746: 遠慮^{えんりょ}がちにエウエ語^ごを話^{はな}したが、猿芝居^{さるしばい}と気^きづかれた。

0747: ひかげもの 日陰者のゾッピに、けんじゅつ おうぎ でんじゅ 剣術の奥義を伝授するとは、おどろ 驚きだぜ。

0748: げんしゆく ぎしき ほうち やつ ゆる ツォグゲレルは、厳粛な儀式を放置した奴らが、許せぬようだ。

0749: にゅうじ よだれ た な あわ 乳児がピューピューと涎を垂らし泣き、ヘオルへは慌ててあやした。

0750: しゅうじゆく テイクヴァはスキルも習熟してるし、レベルアップすっか。

0751: むかし つ け か ごえ 昔は、突きや蹴りの掛け声が、「デァーデァー」だったんだけどな。

0752: ふてきせつ へんすう してき プログラミングでは、不適切な変数を、ちよくちよく指摘される。

0753: くじょ さっちゅうざい つか コバエを駆除すべく、ドヴァリョーナスは殺虫剤を使った。

0754: ゆ た たいりよく お ピアオが、湯むきトマトのスープを絶ち、体力が落ちてきた。

0755: ははおや に あ ゼルヴォスの母親は、フォレストグリーンのマニキュアが似合う。

0756: べつべつ へ や しゆくはく ウィーザーは、スグロホと、別々の部屋で宿泊する。

0757: げこうちゅう じたく びど しか ヴァホンは下校中にはぐれ、自宅でこっ酷く叱られた。

0758: ぐんびよう いくど せんじょう か だ ビェロは軍兵として、幾度となく戦場に駆り出された。

0759: た くだもの ざくろ テューペロで食べた果物は、ペルシャブラックという柘榴だった。

0760: お ゆめ の フューチャービューを追う夢に、ウィンチェスターも乗ろうぜ。

0761: ふんいき かぶ ま おちい ヴェスピニャーニは雰囲気で株をやり、負けてパニックに陥った。

0762: ささ はめつ さきの ヴィルヒャルマーが支えたとしても、破滅の先延ばしだろうな。

0763: の のど や もんぜつ あつ スピリタスをグイっと飲み、喉が灼け悶絶するほど熱い。

0764: しよく もと む しゅっぱつ 職を求め、ラヴナヌツァに向かって出発したのは、ユスポフなの？

0765: ぬ え きばつ いろ ぬ くせ なお エスパーホは、塗り絵を奇抜な色で塗る癖を治す。

0766: す き やづく じゅうたく けんぞう トウカペルで、数寄屋造りの住宅が建造されている。

0767: さかば さかだる ころ しゃざい バニョーネの酒場で酒樽を転がし、謝罪しましたよ。

0768: 晩酌^{ばんしゃく}で、アブドゥーグを一杯^{いっぱい}やるのが楽しみ^{たの}でね。

0769: 「テヨ」はハングルに^で出てくる文字^{もじ}であることを、夜盗^{やとう}が教^{おし}えてくれた。

0770: 栄えあるトロフィーは、コンペでトップのヴラスティミルに^{ささ}捧げられた。

0771: ポンペオが岐阜^{ぎふ}へ行ったのは、ひょっとしてウェイパーが目的^{もくてき}なのか？

0772: ピョヴェーネの西遊記^{さいゆうき}に、河童^{かつば}が^で出てこないってデマだよな。

0773: シェンキエヴィッチが父親^{ちちおや}に甘^{あま}えて、スフェーンとジェードを貰^{もら}った。

0774: ヒュープは、験^{げん}を担^{かつ}ぐ気持ち^{きも}で、百度^{ひゃくどまい}参^{はじ}りを始めた。

0775: 大名^{だいまいよう}に謙譲^{けんじょう}する、麦焼酎^{むぎしょうちゅう}の準備^{じゅんび}は、パーフェクトです。

0776: ファゾーロがぶるぶると震^{ふる}うのは、夕べ^{ゆう}のことが原因^{げんいん}なのか？

0777: んー、シェルヴィーノは、完熟^{かんじゅく}トマトのミネストローネ^{こうぶつ}が好物だよ。

0778: ぼちぼち微分^{びぶん}が解^とけそうだと、ディヴァダス^{しゅちょう}が主張^{しゅちょう}した。

0779: グェルフの侵略速度^{しんりやくそくど}、まさに雷神^{らいじん}の如^{ごと}しじゃ。

0780: 五月一日^{ごがついついち}に、ジャクエンは、友達^{ともだち}のヴァザーリ^{けつべつ}と決別^{けつべつ}した。

0781: ミヤゼディ碑文^{ひぶん}の近く^{ちか}で、僕^{ぼく}のドッペルゲンガー^みを見た気^きがした。

0782: ビューフィルスが皿^{さら}を割^わり、パンタレオヌス^{せきにん}が責任^とを取る。

0783: デュウィンとギェオールギイは、仲良^{なかよ}く二人^{ふたり}でジャングルジムにいるぜ。

0784: クォーターのデュボが直々^{じきじき}に、逆賊^{ぎゃくぞく}の討伐^{とうばつ}へ出向^{でむ}く。

0785: グァバ茶^{ちゃ}を飲^のみ実^{じつりよく}力を^{はつき}発揮^かすれば、勝^{あいて}てる相手だよ。

0786: ベッツィーは、どこにでも立派^{りっぱ}な橋^{はし}を架^かけることができる。

0787: ジョヴィナッツは、子供^{こども}に公文式^{くもんしき}を習^{なら}わせるつもりだ。

0788: 石^{いし}を磨^{みが}く技術^{ぎじゆつ}は、忍^{しのび}になるために必須^{ひつす}ですよ。

0789: シュマリエシュケ・トプリツェに、竹刀しな い も むかしを持った 昔 ながらのコーチがいるってさ。

0790: リュベルツィは、ハンディタイプの扇風機せんふうき み なを見たこと無いぞ。

0791: キャンティが操縦そうじゅうするフェラーリに乗り、旅行りょこうへ出発しゅっぱつだ。

0792: トレビゾンダに悪気わるぎ なは無なだろうが、罪つみには罰ばつを与あたえにゃならぬ。

0793: 辛つらければ、チュルチュルと蕎麦そばでもすすって、自分じぶんを慰なぐさめなさいな。

0794: 五月晴さつきばれの日ひに、アゾヴォ＝スイヴァスキーに行いってみるか。

0795: ドウエヴィツレで入手にゅうしゅした時計とけいは、コストパフォーマンスが良よい。

0796: デュボスが好すきな漫画まんがはボボボーボ・ボーボボで、部屋へやに全巻ぜんかん揃そろってる。

0797: 冷ひえたビールだと思おもったら、人肌ひとほどに温ぬるくてギョっとした。

0798: リュディヴィーヌは角笛つのぶえ ふを吹ふき、プロッティに盗賊とうぞくの存在そんざいを知しらせた。

0799: 囲碁部いごぶの部長ぶちょうウォンの棋譜きふを、ポーランドのジェフに送おくろう。

0800: キョーディは良よく通とおる声こえで喋しゃべるのに、どこにわいるか分わからないの？